

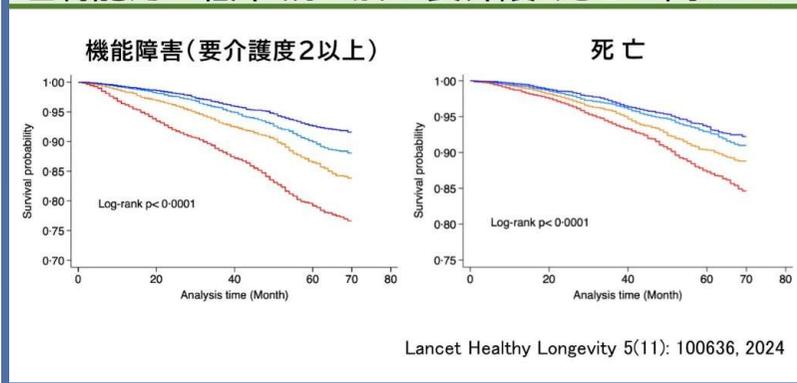
島根大学サイエンス・カフェ 島根からつなぐ！SDGsー  
第123回島根大学サイエンスカフェ

3 すべての人に健康と福祉を  
8 働きがいも経済成長も  
17 パートナーシップで目標を達成しよう

# 健康長寿を目指した オーラルフレイルの 予防・改善に向けて

わが国では75才以上の後期高齢者を対象に歯科口腔健康診査を推奨しています。しかし、口腔の健康状態と要介護や死亡との関連についてのエビデンスは充分ではありません。島根大学が県歯科医師会と実施した共同研究から、13項目の口腔指標の悪化がこれらの発生と関連しており、特に客観的な咀嚼能力の影響が大きいことが明らかになりました。研究成果を紹介しながら、オーラルフレイルと健康長寿について考えてみます。

咀嚼能力の低下(青→赤)は要介護・死亡の高リスク



Zoomによる  
オンライン開催  
先着100名・参加無料



<https://forms.office.com/r/8nZBPUHBPA>

申込締切 2.7(金) 13:00

講師 矢野 彰三 准教授  
(島根大学医学部臨床検査医学講座)

日時 2025. 2. 7 (金)  
16:00~17:10

講師紹介  
専門分野 : ライフサイエンス / 内科学一般  
研究テーマ : 健康長寿を目指した  
オーラルフレイル予防・改善の推進 等

司会 : 服部 大輔 准教授  
(島根大学 地域未来協創本部)

お問合せ :  
研究・地方創生部 研究推進課  
0852-32-6056

